



■ クラブ紹介

当クラブは名張RCをスポンサークラブとし、1995年6月12日に創立しました。

現在会員の年齢は、20代から70代と幅広く、時代の変化に対応すべくホームページを刷新し、またSNSを活用してクラブ活動を発信してまいりました。

奉仕活動では、地域に密着した手作りの事業にこだわり「ロータリーデー」「世代間交流事業(青少年育成)」を継続して実施しています。

家族親睦事業も盛んで、子供、孫を連れて親睦を深めることも少なくありません。そんなアットホームなクラブといえます。



■ “男山桜の森” 清掃整備作業

2005年3月、森を切り開いて植樹された”男山桜の森”。毎年2回の草刈り、東屋・遊歩道・ベンチの設置・整備を実施してきました。

今年は特に暑いため、7時から作業を開始。熱中症にも注意しながら、会員総出で草刈機や鎌、レーキを手を持ち、長く伸びた草を丁寧に刈り込みました。

これからも”男山桜の森”が地元の皆様の憩いの場としてあり続けられるよう、これからも維持活動に励んでまいります。



■ ロータリーデー in “男山桜の森”

名張中央公園には、たくさんの桜の木が植えられており、桜が満開を迎えるころ「名張桜まつり」が盛大に開催されます。

当クラブは桜まつりに協賛し、名張中央公園内にある当クラブが整備してきた「男山桜の森」でロータリーデーを開催しました。

子ども向けのお菓子釣りゲームを実施するとともにロータリー広報パネルを掲示し、クラブ広報チラシを配布するなどして、広くPRしました。また、今年はポリオへの理解を深めて頂きながら気持ち募金も実施しました。



■ 伊賀組み紐の巾着袋贈呈(社会奉仕事業)

名張高等学校 総合学科 生活デザイン系列 被服専攻の学生19人に協力して頂き、社会福祉法人こもはら福祉会 はなの里つつじが丘の施設利用の皆様へ伊賀組み紐を使った巾着袋38個を贈呈し、座談会など世代間交流事業を開催しました。

贈呈式では、学生から高齢者の方へ巾着袋を手渡し、涙する一面もありました。座談会では、学生時代の話やオペラを披露してくれるなど大変盛り上がりました。高齢者の方々と交流し、福祉における社会勉強として気づき、学びを得て頂けたと思います。こうした経験が今後の人生において糧となりますことを祈っています。これからも継続事業として、名張高等学校の皆さんと連携し実施して参ります。

